



こ う じ え ん 校 地 縁

開進第一中学校だより
令和3年度 第6号
令和4年3月25日発行

「校地縁」 ～「学校と地域・家庭の縁をつなぐ」ために～

「1年生の一年間」

1学年主幹教諭 近江 美奈子

ピカピカの顔とブカブカの制服で入学してきた君たち。新しく始まることに時にとまどいながらも果敢に挑戦していきました。長くなった授業時間と、提出物や課題の多さにとまどいながらも積み重ねて行った勉強。学年行事ではドッジボールを楽しみながらクラスの団結を高めました。校外学習では（残念ながら実施できませんでしたが）、自分達でコースを調べ企画することの難しさを知りました。合唱では、先輩方のすごさを感じ来年の自分たちのあるべき姿を思い浮かべることができました。2年生でもさまざまな経験をしましょう。手と頭と足と心をいっぱいに使って大きく成長していきましょう。

そして、何より命を大事に。みんな誰かの大切な人です。絶対に忘れないでください。

「生徒の元気な挨拶」

2学年教諭 小林 格

私が開進第一中学校に着任したのは、去年の4月です。その時に驚いたことがあります。それは、どの生徒も私にはじめて会うのにもかかわらず、大きな声で挨拶をしてくれたことです。とても元気がよく素直な印象を受けました。

今年度も行事を開催することができず校外学習も中止になってしまいましたが、それでも2年生の皆は変わらず元気に挨拶をしてくれました。笑顔で前向きに頑張ろうとする姿を感じました。とても素晴らしいことです。4月には1年生は2年生に、2年生は3年生になります。進級しても笑顔を忘れずに頑張っていきましょう。

「3年間でつけた力」

3学年教諭 宮島 悠維

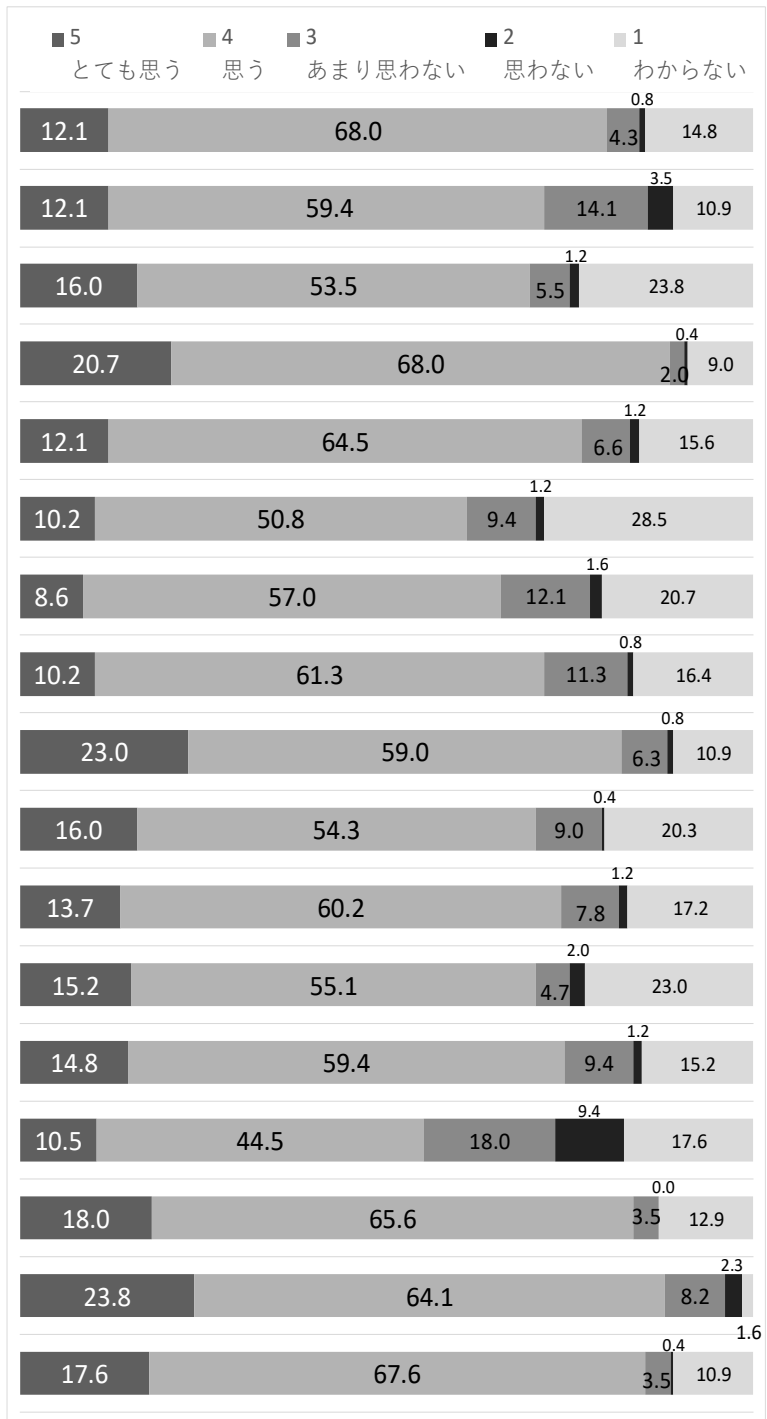
3月18日、桜が咲く時期としては少々冷たい雨が降っていました。しかし、そこだけは雨が降らずにいてくれたように感じさせる温かい卒業式でした。

卒業した3年生が入学した年は、平成31年、ちょうど新しい元号「令和」が発表された年です。入学式を終えた彼らも制服、教科担任制、部活動…初めてづくしの毎日を慌ただしく、しかし、新鮮味をもって過ごしていました。時には失敗をすることもありました。それを糧にして、満開の花を咲かせる下地を築いていきました。そしてなにより中学生となり、今までから変わろうとする強い意志が感じられました。しかし、1年生の締めくくりとなる3月に新型コロナウイルスによる突然の休校がありました。新年度を迎えても先行きが見えず、これまでとは別の慌ただしさがあった2年生の1年間でした。しかし、卒業生代表生徒の「別れの言葉」にもあったように、彼らはそのような状況にも臨機応変に対応し、困難を逆に自らの力に変えていったように思いました。そして集大成である3年生になった彼らは、受験生と呼ばれるようになりました。新型コロナウイルスの影響により、高校入試にも大小さまざまな変更がありました。その中でも、彼らは変化を受け入れ、柔軟に対応していきました。そして、それぞれが自分の力を十分に発揮して進路を決定しました。「新しい時代、新しい環境でも生きていく力をつけていくことができました」と感じさせる姿でした。

今現在も国内外問わず、落ち着かない情勢が続いています。しかし、そのような中でも彼らには、3学年だよりのタイトルである「たんぽぽ」の綿毛のように、まだ見ぬ場所へ飛んでいき、そこで力強く根を張ってほしい、そう願っています。

学校評価アンケートの結果

- 1 学校は、教育目標（自立した人、誠実な人、貢献する人）の達成に向けて取り組んでいる。
- 2 学校は、教育目標の具現化を目指して、授業・学級づくり・学校行事・部活動などの教育活動を行っている。
- 3 学校は、事故やトラブルに対して、迅速に対応している。
- 4 学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、環境美化に努めている。
- 5 学校は、生徒が学習内容の理解を深めることができるように、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。
- 6 学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、生徒の言語能力が高まるように努めている。
- 7 学校は、学力の向上を目指して、生徒の実態に基づいた授業改善に努めている。
- 8 学校は、将来に向けて、生徒の社会的・職業的な自立に必要な知識や能力の育成に努めている。
- 9 学校は、生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように努めている。
- 10 学校は、生徒が「です・ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるように指導している。
- 11 学校は、生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるように指導している。
- 12 学校は、教職員自らが手本となり、生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。
- 13 学校は、生徒が体力向上に向け、体育や部活動、休み時間などにおいて、意欲的に取り組めるように指導に当たっている。
- 14 学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。
- 15 学校は、PTA活動や地域活動に関心をもち、保護者や地域と連携・協力をしている。
- 16 学校は、学校だよりや学年だより、ホームページなどで、教育活動の様子や成果や課題などについて定期的に情報提供している。
- 17 学校は、PTA活動や学校を支援する組織を活性化させ、声かけ運動や美化活動、不審者対策などを実施している。



先日は、学校評価アンケートに御協力をいただきましてありがとうございました。全体として、7割から8割の「肯定的評価」をいただくことができました。感謝申し上げます。中でも、校内美化や生徒の挨拶、学校からの情報提供、PTA活動では、特に高い評価をいただきました。学校が力を入れていることもあり、たいへん嬉しく思います。

さて、肯定的評価が6割程度に止まった項目が、食育に関する項目と言語活動の項目でした。食育に関しては、本校において重要視している項目ですが、給食試食会などの実施ができず発信不足もあったと感じています。本校の給食については、日本の伝統と栄養価を考えた献立であり、栄養士・調理員とともに手間をかけた食事を提供しています。今後も本校が目指す食育について御理解をいただけるよう努め、生徒の健康教育を推進してまいります。

言語活動については、これまで授業中に大切にしてきた「対面での話し合い活動」がコロナ禍の影響で実施できなかったことが関係しているものと考えています。「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、可能な方法を探りながら言語活動の充実に向けて努めてまいります。また、生徒一人一人の課題に合わせた授業となるよう、授業改善を進めてまいります。今後とも御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

(副校長 白田統志夫)

練馬区生徒表彰

この「練馬区生徒表彰」は、善行や人命救助、福祉活動や環境美化活動で他の模範となる時、また、部活動等の対外活動・コンクール等において著しい成果をあげた生徒に対し、練馬区教育委員会が表彰を行うものです。なお、対外活動の基準としては、都大会3位以内、関東大会4位以内、全国大会8位以内など、大変厳しい基準が設けられています。今年度、本校では4名の生徒が受賞しました。

3年 吉岡 昶彰くん

◆日本選手権大会準優勝等、野球において数多くの優秀な成績を収めました。

3年 雨宮 太一くん

◆日本選手権大会準優勝等、野球において数多くの優秀な成績を収めました。

3年 桃井 亮磨くん

◆バドミントン男子シングルス都大会準優勝等、数多くの優秀な成績を収めました。

1年 若尾 美季さん

◆東京都水泳競技大会中学1年女子100m背泳ぎ第2位等、数多くの優秀な成績を収めました。

体育優良生徒

体育・スポーツ活動に秀でた技術を有し、学習態度がよく、成績が優秀であり、他の生徒の模範となる生徒に対して、公益財団法人東京都体育協会より男女各1名に贈られるものです。

3年 桃井 亮磨くん

3年 森 友里恵さん

東京都産業教育振興会 優良卒業生

技術や家庭科、実験や実習に熱心で積極的に創意工夫している者で、卒業後の進路に目的をもって意欲的に取り組んでいる生徒に対して、東京都産業教育振興会より男女各1名に贈られるものです。

3年 江森 晴城くん

3年 中野 優さん

中学生の「税についての作文」受賞者

- | | |
|----------------------|------------|
| ◆練馬区長賞 | 3年 浅沼 咲希さん |
| ◆東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞 | 3年 森 友里恵さん |
| ◆東京納税貯蓄組合連合会会長賞 | 3年 小池 優那さん |

中学校技術・家庭科副読本「考えよう！わたしたちの快適な住まい」 第26回 読后感想文コンクール（応募総数全国5063編）

- ◆金賞 2年 柴田 菜帆さん

金融広報中央委員会主催 第54回「おかねの作文」コンクール（全国入選）

- ◆佳作 2年 富田 悠起くん



保護者の皆様、PTAスタジイの会や数々のボランティア活動で1年間たいへんお世話になりました。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。来年度もお世話になります。どうぞよろしく願いいたします。

令和4年3月18日 第75回 卒業式 式 辞

卒業生、保護者の皆様、御卒業おめでとうございます。卒業生の本校で過ごしてきた姿は、今年度スタートした時の5つの学級目標でとても良く表現されていると感じました。

教育の目的「基礎学力」学びに対しても、本校の目標「自立した人」についても「限界」を意識した挑戦がありました。「基本的生活習慣」や目標の「誠実な人」についても「笑顔」で過ごして校風を支えてくれた姿がありました。最後に「集団生活力」についても「貢献する人」として「集大成」の生き方は「学ぶ下級生」のお手本となりました。

私は、素敵なお目標・スローガンを掲げられた教室を巡回して、活躍の成果を表彰したりした時には、素晴らしい卒業生となった理由を見つけました。

本日は、その一つを紹介します。

それは、習い事等、地域と方々との出逢いを大切に生かしてきた姿です。

卒業式後の新しい生活のスタートからも、これまでの出逢い、習い事等を大切に続けてください。

私にとっては、「柔道」に通ったことが当てはまります。自分自身を振り返ると学校の仲間と取り組む少年野球や部活動が、「ファーストスポーツ」でした。「月・水・金」の夜に週3回、小学校入学から始めた「セカンドスポーツ」にあたるのが「柔道」であり、今日は「柔道」から学んだ「三つの軸」について話します。

一つは、物事とは、やめる日は必ず来てしまうものです。しかし、「継続」が大切ということです。

本当に必要なものかどうか大切な物かを見極める力が、習い事の継続から身に付きます。私の周りでも、受験を迎えると周囲の仲間がやめたり手加減している姿がありました。

しかし、私の両親がやめさせてくれませんでした。理由は、「柔道に通わない火・木・土・日曜日の夜には、まだまだ勉強をやりつくしていないからです。自分を見つめ直した時、時間が足りないわけではない」ことに気付きました。自分のできる事が、まだまだあることを認めることは「限界を超える」「自立する」事につながります。

これからの社会の中で生き抜くためには、大切な「時間」と「お金」をどのように使うかの判断もとても重要になってきます。この決断をしてくれた両親への感謝が今でもあります。

二つ目は、「切り換えをしなければならない環境を習い事からはもてる」ことです。気分転換、リフレッシュは大切です。別の世界をもつと今の世界での実績を自慢して語れば人は離れていきます。昼間のファーストスポーツで疲れていても、言い訳として利用せずに向き合うことが夜の柔道では大切でした。義務教育を終えて、自分が選択した道で過ごしていくには、過去の自分をパフォーマンスしたりアピールできないことから高校生活のスタートが待っています。また、安易に富を配付する方法で仲間にかかれようとするのではなく、関わる仲間に対して共に鍛えて高めあうことで人脈は広がっていきます。大切な事は、本当の意味での「愛と笑顔」であり、これからの出逢いを大切にできる「誠実な人」となることです。別の世界での人脈の広がりや、自身の可能性を必ず大きく広げます。

三つ目は、健康です。家庭と本校の魅力的な給食、健康的な食事を始め、お世話になった生活に感謝をして高校生活でも身体を鍛えるということです。健康という深さも大切なことです。

それは、物事を軽く考えたりしないためには「自身の言葉で語れる(重さ)」や「複数のものを同時にできる(速さ)」スピードも将来は期待されます。

点数とは、高くすることばかりに行きがちですが、広さ・深さや重さも速さもこれからの社会で生きていくためには鍛えることが必要で、複数の物に挑む「集大成」の姿をこれからも見せてください。

そして、この地域の誇りとなる世界に「貢献する人」事を期待しています。これまでにに出逢った人々の付き合いが、「セカンド」でも「サード」であっても、これからもずっと継続して、本校の先生方も一緒に大切にしてくれることを願って式辞といたします。